

どうなる
のかな?
自転車利用



2015年3月 策定

静岡市自転車利用計画 基本計画編



静岡市
都市局都市計画部交通政策課

都市将来像

この都市の将来図は「世界水準の自転車都市“しずおか”」の実現をイメージしたものです



具体的にはどのような取組をするのですか

▶ハード・ソフト・マインド一体となって様々な施策に取り組みます。

共通施策

■自転車サポーター制度

自転車の利用環境向上のため、市内各地の店舗等の従業員などを自転車サポーターとして認定し、自転車の利用ルールやマナー啓発、修理工具の設置、自転車マップの配布等を実施します。



ソフト施策

■高校生による小学生への交通安全教室

高校生の交通安全意識の向上と責任感の醸成を目的とし、高校生が小学生の交通安全教室に「教える」立場として参加する「交通安全教室」を実施します。

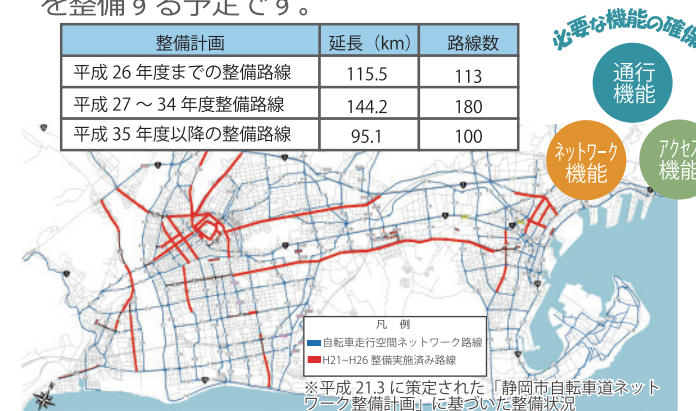


ハード施策

■自転車走行空間ネットワーク整備の拡充

自転車走行空間ネットワーク路線 延長 354.8km を整備する予定です。

| 整備計画 | 延長 (km) | 路線数 |
|-------------------|---------|-----|
| 平成 26 年度までの整備路線 | 115.5 | 113 |
| 平成 27 ~ 34 年度整備路線 | 144.2 | 180 |
| 平成 35 年度以降の整備路線 | 95.1 | 100 |



静岡市内に整備された自転車走行空間の事例



マインド施策

■自転車マップの作成・配布

自転車利用者のニーズに合わせたマップを作成し、通勤・通学者、サイクリング、自転車観光者の自転車利用環境の向上を図ります。



自転車マップづくりワークショップの様子



自転車安全利用五則

守ろう！交通ルール

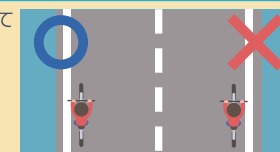
1. 自転車は車道が原則、歩道は例外

●道路交通法上、自転車は軽車両として位置づけられています。したがって、歩道と車道の区別がある場合は車道通行が原則です。



2. 車道は左側を通行

●自転車は、道路の左端に寄って走行しなければなりません。



3. 歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行

●歩道では、すぐに停止できる速度で通行し、歩行者の通行を妨げる場合は一時停止しなければなりません。



4. 安全ルールを守る

- 飲酒運転は禁止
- 二人乗りは禁止
- 並進は禁止



- 信号を守る
- 交差点での一時停止と安全確認
- 夜間はライトを点灯



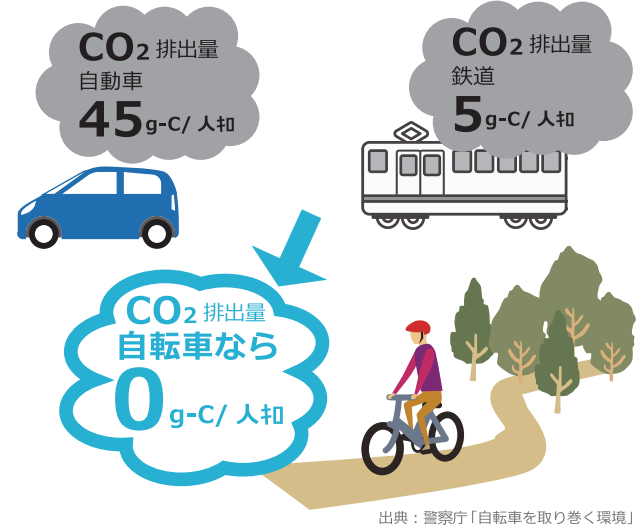
5. 子どもはヘルメットを着用

●児童・幼児の保護責任者は、児童・幼児に乗用車のヘルメットをかぶらせるようにしましょう。



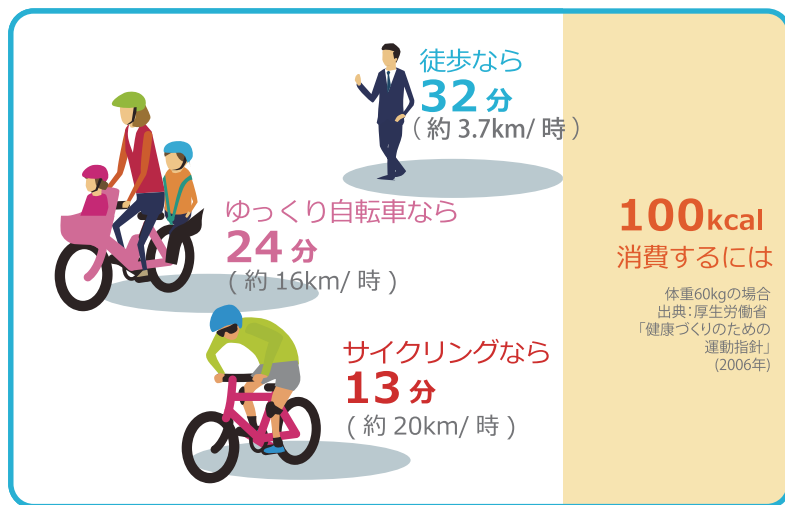
自転車のメリットを知っていますか

■ 1人を1km運ぶのに排出するCO₂



ガソリンなどの化石燃料を必要とせず、CO₂ 排出量が0の環境にやさしい移動手段なんだね！

■ 活動内容別の100kcalのエネルギー消費量

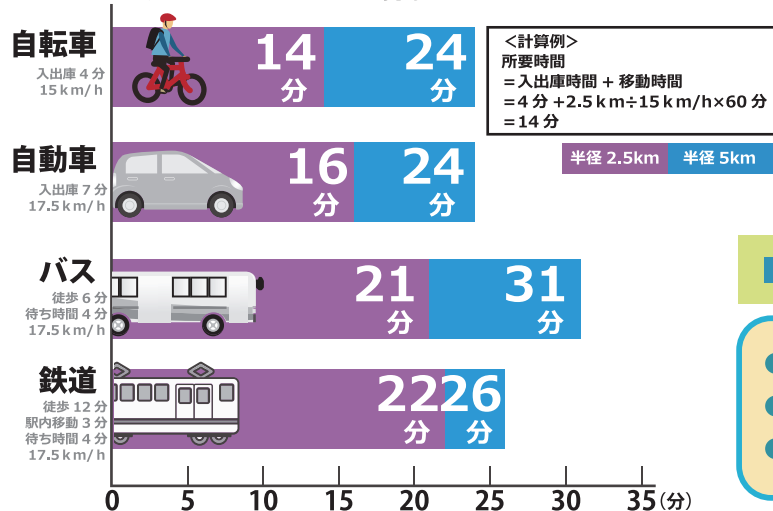


日常生活で利用することで、自然に健康づくりができる交通手段だね！

■ 2.5km程度の移動には自転車早い



■ 2.5km、5kmにかかる時間



■ 自転車は地域経済に寄与する

■ 宇都宮市の中心市街地店の買物の金額、袋、回数の比較

| 来店回数を週あたりで回答した者 | 中心市街地店 | |
|-----------------|---------------|---------|
| | 車 | 自転車 |
| 週あたり来店回数(A) | 1.9回 | 3.4回 |
| 一回の買い物(平均) | 荷物または袋の数(B) | 1.8 |
| | 金額(C) | 5,326円 |
| 買い物回数(週) | 荷物または袋の数(A×B) | 3.42 |
| | 買い物金額(A×C) | 10,119円 |
| | | 12,549円 |

※回答者：中心市街地店のうち、荷物や金額に回答あったもの
出典：古倉宗治氏「成功する自転車まちづくり 政策と計画のポイント」

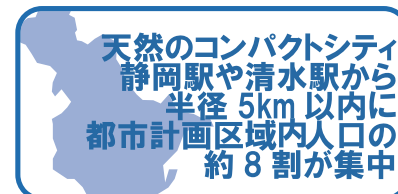
自転車だと駐車時間を気にせず、ゆっくり買い物が楽しめるわね！

■ ほかにこんなメリットが

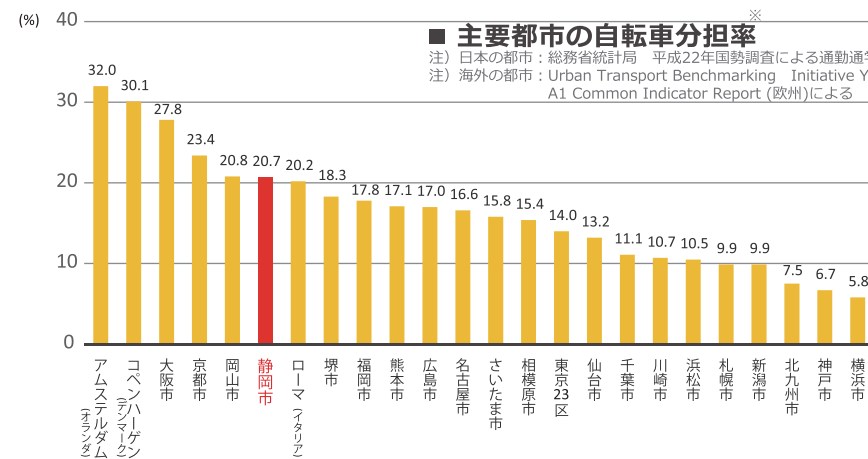
- 自転車は維持費があまりかからなくて経済的
- 自転車に乗るだけで楽しい
- 自転車は手軽で使いやすい

なぜ、静岡市で自転車利用計画を策定するのですか

自転車に適したまち“しずおか”



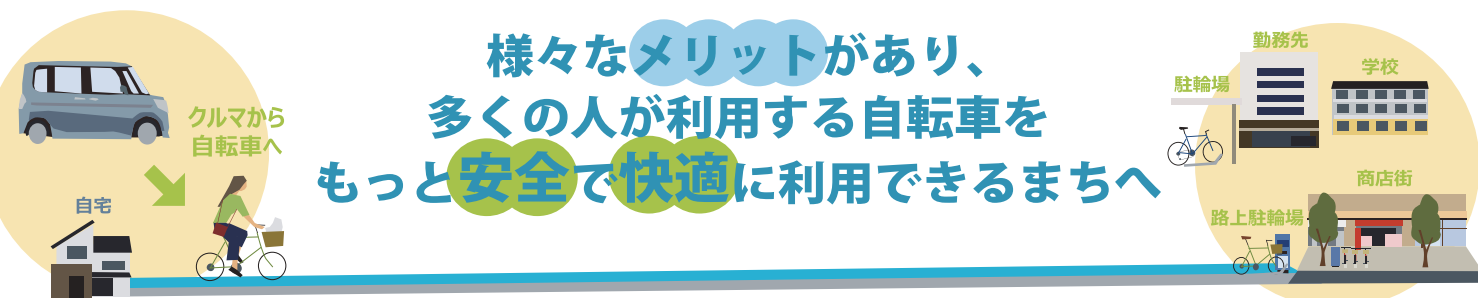
現在でも多くの市民が自転車を利用しています



静岡市の通勤・通学時の代表交通手段として自転車分担率は世界的にも高い！

※自転車分担率 — 代表交通手段の中で、移動に自転車を利用している人の割合

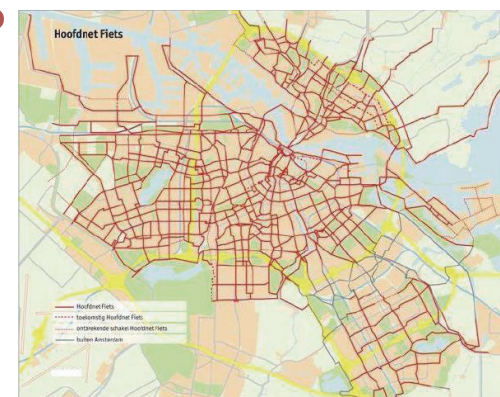
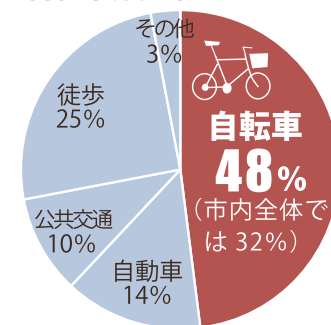
様々なメリットがあり、多くの人々が利用する自転車を、もっと安全で快適に利用できるまちへ



■ 世界都市の先行事例 アムステルダム市 (オランダ)

アムステルダム市も静岡市と同様、平坦な地形で自転車の利用が多いまちとして有名。環境・エネルギー政策を重要課題として取り組んでおり、都市内交通において自転車の利用を積極的に進めている。

■ アムステルダム市中心部の自転車分担率



総延長 500km の自転車レーン
90% の道路で自転車専用道路が整備されている

アムステルダム市は自転車利用に関する長期計画を策定し、安全な自動車道の整備や自転車駐輪場の整備、さらに盗難対策から自転車利用者に有利な交通信号のコントロールまで行われている。

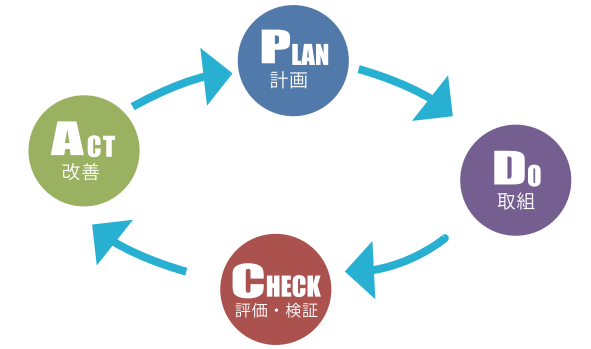
計画では自転車施策をどのように進めるのですか

▶ 世界水準の自転車都市「しずおか」の実現を目指し、6つの基本目標を設定し、「ハード的対応」、「ソフト的対応」、「マインド的対応」の3つの対応の柱に基づいて取り組みを推進します。

計画の進捗はどのように確認するのですか

■ PDCAサイクルによる進捗管理

事業の進捗確認をしながら、自転車利用計画 (Plan) に基づいた取組 (Do) に対して、評価指標により施策の進捗状況を評価・検証 (Check) し、必要に応じて計画の改善 (Act) を行っていきます。



■ 評価指標

静岡市自転車利用計画は、「世界水準の自転車都市」の実現に向け、平成46年度に下記の目標が達成できるように進捗を確認しながら事業を推進していきます。

基本理念

世界水準の自転車都市「しずおか」の実現

市民が積極的に自転車を選択し、誰もが安全で快適に自転車を利用できるまち



基本目標

「健康」の増進

→積極的な自転車の利用により、体を動かすことで、心身の健康を育む。

「環境」負荷の軽減

→積極的な自転車の利用により、「環境」負荷の軽減を図る。

「利用」の促進

→安全・安心で快適に走行や駐輪できる環境を整える。

「賑わい」の創出

→自転車でまちに「つなぎ」、市内を「めぐり」、仲間と「つどろ」ことができるまちを構築する。

「モラル」の向上

→自転車ルールを遵守し、マナーに対する意識が高い市民の「モラル」の向上を図る。

「プライド」の確立

→官民連携し、自転車と言ったら、「しずおか」と誇りに思える「プライド」の確立を図る。

課題

現状の課題は何なのかしら？

走行空間 自転車関連の交通事故は年間約 1,500 件 (市内全事故数の約 23%) なんだって

標示 自転車って道路のどこを走って良いのかわからないんだよね

ルールマナー教育 自転車の交通違反は、一時停止違反、並進、通行区分違反の順に多いんだよ

規制 自動車ドライバー・歩行者等、自転車利用者以外にも自転車の通行ルール・マナーを理解してもらって必要だよ

駐輪利便性 高齢者や女性等にも使いやすい駐輪場がほしいわ

地下駐輪場 まちなかでは、あまり利用されていない地下駐輪場を有効活用してほしいわ

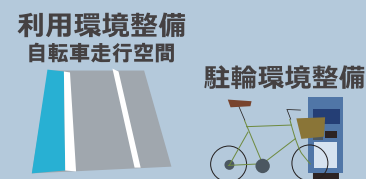
放置自転車 まちなかの放置自転車台数は約 2,000 台/日なんだって

経済観光レジャー 静岡市が自転車のまちであることや、自転車の魅力が広く知られるといいわ

環境 クルマから環境にやさしい自転車への交通手段の転換が望まれるわ

対応の柱

ハード的対応



- 安全・安心で快適に利用できる走行空間づくり
- 利便性の高い駐輪環境づくり

ソフト的対応



- ルール・マナーを周知する機会づくり
- ルール・マナーを徹底する体制づくり

マインド的対応



- 自転車の楽しさやメリットを共有する環境づくり
- 自転車に乗りたくなる環境づくり

| 評価指標 | 現況 | 平成 34 年度 (8 年後・中期) | 平成 46 年度末 (20 年後・長期) |
|--------|---|-----------------------------|-------------------------------|
| 健康指標 | 健康寿命 ※1 (出典：静岡市健康増進計画 (第2次)) 男性：71.28 歳 女性：74.63 歳 (H22) ※2 | 延伸 (H34) | |
| 環境指標 | 二酸化炭素排出削減量 (市内全体) 5,505.4 千 t-CO2 (H23) (出典：静岡市地球温暖化防止対策実行計画) | 148 千 t-CO2 (CO2削減量) | |
| 利用指標 | ※3 自転車分担率 (H24 第4回 PT 調査より) 18.3% | 30% (ヨーロッパ先進都市の水準) | |
| 賑わい指標 | まちなかへの自転車来訪率 (H26) 12.3% (1.23%) (H26) | プラス (H26 年度比) | プラス (H26 年度比) |
| | 自転車を利用した来街者数 静岡市の人口 8,710 人 / 710,000 人 | | |
| モラル指標 | レンタサイクル利用者数 (H26) 4,000 人/年 | 6,000 人/年 | 8,000 人/年 |
| | 交通ルール遵守率 (道路の左側通行を遵守している人の割合) <6 箇所程度に測定箇所を増やす> (H26) 62% | 68% | 75% (H23 警察庁アンケートより) |
| プライド指標 | まちなかにおける放置自転車台数 (H25) 1,956 台 | 1,170 台 | 0 台 |
| | 自転車サポーター数 (H26) 0 人 | 6,300 人 (H23~34 各 900 人) | 17,000 人 (清水エスパルス後援会人数と同等) |

※自転車分担率が30%を達成した場合に、現状の自動車から自転車への利用転換によるCO2削減量

※1 健康寿命 - 介護を受けたり、寝たきりになったりせずに日常生活を送れる期間
 ※2 健康寿命の現況は、厚生労働省「健康寿命の指標化に関する研究(平成25年度分担研究報告書)」より抜粋
 ※3 自転車分担率 - 代表交通手段の中で、移動に自転車を利用している人の割合